

新技術等の公募

「豊洲新市場予定地における土壌汚染対策等に関する専門家会議」の報告を踏まえ、土壌汚染対策を具体化するにあたり、民間企業等から技術を募り、その評価及び検証を経て、実効性や経済性に優れた土壌汚染対策計画を策定することを目的とする。

1. 公募の概要

対象とする提案
<p>【前提】</p> <p>第9回専門家会議において都に提出された報告書内の「9.今後東京都がとるべき対策のあり方」の内容を満たす等の技術・工法であること。</p> <p>科学的な立証（論理的な根拠、メカニズムの証明等）が可能であり、確実に目的を達成できる具体的な技術・工法であること。</p> <p>【提案を求める内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚染土壌、汚染地下水対策 ・ 液状化対策 ・ 市場施設完成後の地下水管理システム ・ 専門家会議の報告と同等またはそれ以上の効果が期待できる総合的な対策
新技術等の評価基準
<p>新技術等の評価は、主に以下の視点から行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実効性及び施工性に優れていること 周辺環境への影響の防止対策が考慮されていること 技術・工法が他の類似または同種のものに比べて経済性に優れていること 技術・工法が他の類似または同種のものに比べて短い時間での施工が可能であること

2. 公募要領

公募の詳細については、「豊洲新市場予定地の土壌汚染対策工事に関する新技術等公募要領」とおりとする。

【豊洲新市場予定地の土壤汚染対策工事に関する新技術等公募要領】

1 目的

東京都中央卸売市場（以下、「都」という。）は、去る7月26日に、豊洲新市場予定地における土壤汚染対策等に関する専門家会議（以下、「専門家会議」という。）から、豊洲新市場予定地（以下、「予定地」という。）の土壤汚染対策に関する報告を受けました。報告は、提言の対策を実施すれば、人の健康への影響はなく、生鮮食料品の安全・安心も十分確保されるという内容となっています。

本公募は、この報告を踏まえ、土壤汚染対策を具体化するにあたり、民間企業等から技術を募り、その評価及び検証を経て、実効性や経済性に優れた土壤汚染対策計画を策定することを目的としています。

2 公募内容

(1) 対象とする提案

第9回専門家会議において都に提出された報告書内の「9. 今後東京都がとるべき対策のあり方」の内容を満たす等の技術・工法を提案してください。

また、科学的な立証（論理的な根拠、メカニズムの証明等）が可能であり、確実に目的を達成できる具体的な技術・工法であることを前提とします。

提案を求める内容は以下のとおりとします。

- ・ 汚染土壌、汚染地下水対策
- ・ 液状化対策
- ・ 市場施設完成後の地下水管理システム
- ・ 専門家会議の報告と同等またはそれ以上の効果が期待できる総合的な対策

(2) 対象とする新技術等

本公募の対象となる新技術等は以下のとおりとします。

- ・ 提案者が技術開発者であるまたは技術行使権限を有する新技術等
- ・ 新技術等の開発時期については新旧問わない

3 新技術等の公募について

(1) 公募方法

本公募に参加を希望する者は、下記の書類を提出願います。（下記6の問い合わせ及び公募書類送付先まで必ず郵便または信書便にて送付し、提出してください。）

- ・ 別紙1「公募様式」の各項目について記入したものを正本1部、副本10部及びCD-R等に記録した電子情報を提出してください。
- ・ 「公募様式」以外に、別途、新技術等の内容に関する参考資料（様式自由）を添付することは可とします。正本1部及び副本10部を提出してください。

(2) 公募の期間

平成20年8月18日（月）から9月26日（金）17時必着
（郵便または信書便による送付に限る。）

(3) 新技術等の評価・選定について

- ・ 新技術等の提案は、公募受付期間終了後、別途都が設置する「豊洲新市場予定地の土壤汚染対策工事に関する技術会議」（以下、「技術会議」という。）において、(4)新技術等の評価基準に基づき、専門的、技術的な評価及び検証を行います。
- ・ 技術会議は、提案内容についてのヒアリングを行うことがあります。
- ・ 評価過程並びに選定結果については、技術会議終了後、公表します。選定されなかった提案の評価につきましては、個別にご照会ください。

(4) 新技術等の評価基準

新技術等の評価は、主に以下の視点から行うこととします。

- ・ 実効性及び施工性に優れていること。
- ・ 周辺環境への影響の防止対策が考慮されていること。
- ・ 技術・工法が他の類似または同種のものとは比べて経済的に優れていること。
- ・ 技術・工法が他の類似または同種のものとは比べて短い期間での施工が可能であること。

4 スケジュールについて

おおむね以下のスケジュールで進める予定です。

平成20年9月26日

公募締め切り

平成20年9～10月

技術会議において専門的な見地から評価及び検証を実施

平成20年10月下旬

新技術等の選定結果を公表

5 その他

- ・ 本公募にあたっては、専門家会議にて示された土壤汚染に係る調査結果や各種データを十分参照のうえ、提案を作成してください。

専門家会議報告書：<http://www.shijou.metro.tokyo.jp/senmonkakaigi1/index.html>

- ・ 資料の作成及び提出書類については、日本語で作成してください。
- ・ 応募者の提出書類に含まれる著作物の著作権は、都に帰属することとしませんが、公表その他都が必要と認める用途に用いる場合、都はこれを無償で使用することができるものとします。
- ・ 本公募において選定された新技術等の概要は、提案者名等を除き公表します。
- ・ 本公募への参加に伴い第三者との間に係争、苦情、紛争等が生じた場合等は、都は一切の責任を負いません。
- ・ 本公募の提案に関する費用は負担しません。また、提出いただいた書類については、返却しません。
- ・ 本公募において選定された新技術等は、将来、都との工事請負契約等を約束するものではありません。

6 問い合わせ及び公募書類送付先

本公募に関する問合せ及び公募書類送付先は下記のとおりとします。問合せにあたっては、別紙2「質問書様式」をご利用のうえ、電子メールまたはFAXにてお送りください。

なお、本公募に関する情報提供は、東京都中央卸売市場ホームページを通じて適宜行います。

〒104-0045 東京都中央区築地 5-2-1

東京都中央卸売市場 管理部 新市場建設課 技術係

「新技術等公募」担当

TEL 03-3547-7045 (ダイヤルイン)

FAX 03-3542-0051

E-mail S0000663@section.metro.tokyo.jp

(電子メールを利用する場合、件名を「新技術等公募の件」としてください。)

ホームページ <http://www.shijou.metro.tokyo.jp>

添付資料

[別紙1：公募様式](#)

[別紙2：質問書様式](#)

新技術等調査票

新 工 法 称			送付年月日	平成 年 月 日
			開 発 年	年
副 題				
公 募 項 目 (下 段 に)	汚染土壌・汚染地下水対策	液化化対策	市場施設完成後の 地下水管理システム	専門家会議の報告書と同等 または、それ以上の効果が 期待できる総合的な対策
問 い 合 わ せ 先	会 社			
	担 当 部 署		担 当 者 名	
	住 所			
	T E L		F A X	
	E - M a i l			
【 概 要 】				
【 特 徴 ・ メ カ ニ ズ ム 】				

【 施 工 方 法 】	
【 施 工 単 価 (代 価 明 細 書 含 む) ・ 材 料 単 価 及 び 工 期 】	

【 そ の 他 】			【 検 査 ・ 試 験 デ ー タ 等 】			
種 類	特許等の有無	特 許 番 号	東京都合計	件	代 表 的 な 工 事 件 名	施 工 年
特 許			建 設 局	件		年
実 用 新 案			港 湾 局	件		年
【 登 録 】			下 水 道 局	件		年
登 録 機 関	国土交通省 (NETIS)	東京都建設局 (新技術データベース)	水 道 局	件		年
登 録 番 号			その他の局	件		年
登 録 年 月 日			国土交通省合計	件	代 表 的 な 工 事 件 名	施 工 年
【 評 価 ・ 証 明 】			技術活用パイロット	件		年
制 度 の 名 称			特定技術活用パイロット	件		年
番 号			試験フィールド	件		年
証 明 年 月 日			その他	件		年
証 明 機 関			他 自 治 体	件		年
証 明 範 囲			民 間 等	件		年

新技術等公募に関する質問書

「豊洲新市場予定地の土壌汚染対策工事に関する新技術等の公募」について、次のとおり質問がありますので提出します。

提出者	会社名	
	所在地	
	部署名	
	担当者名	
	電話	
	F A X	
	提出者	
	e - m a i l	
質問分野 (をして ください)	汚染土壌、汚染地下水対策	
	液状化対策	
	市場施設完成後の地下水管理システム	
	専門家会議の報告と同等またはそれ以上の効果が期待できる総合的な対策	
	その他	
No.	質問の内容	
1		
2		